

仕様書④

静岡県立こども病院防虫・防鼠（ねずみ等防除）業務委託仕様書

静岡県立こども病院防虫・防鼠（ねずみ等防除）業務委託については、契約書に定めるものの他、この仕様書の定めるところによる。

（用語の定義）

- 1 この仕様書において次の各号に掲げる用語の定義は、それぞれ当該各号に定めるところによる。
 - 一 ねずみ等 ねずみ等とは、ねずみ、昆虫その他の人の健康を損なう事態を生じさせるおそれのある動物をいい、ねずみ、ゴキブリ、ハエ、蚊、ノミ、シラミ、ダニ等のいわゆる衛生害虫のように病原微生物を媒介する動物をいう。
 - 二 防除 防除とは、「予防」と「駆除」の両方を含めた言葉である。ねずみ等が発生・侵入しないようにすることで被害を事前に防止することが「予防」であり、建築物内に生息するねずみ等を殺滅するための処理が「駆除」である。

（施工場所）

- 2 施工場所は次の場所とする。
 - (1) 病棟（絨毯・カーペット部分は除く）、R I 浄化槽
 - (2) 厨房
 - (3) 便所、湯沸場、パントリー、管理棟、外来、放射線、検査、薬局、パワープラント、共用部

（実施時期）

- 3 (1) 実施時期は次に示す月で、甲の指定した日
 - ア 2の(1)については、5月、11月の年2回
 - イ 2の(2)については、毎月1回の年12回。

なお、4、12、2月については、ねずみ等の発生場所、生息場所及び進入経路並びに被害の状況について調査のみとする。
 - ウ 2の(3)については、5～11、1、3月の9回

なお、実施にあたり乙は契約書第41条第1項に定める業務実施計画書を作成し、甲の承諾を得なければならない。
- (2) 6ヶ月以内ごとに1回、ねずみ等の発生場所、生息場所及び侵入経路並びにねずみ等による被害の状況について統一的に調査を実施すること。
- (3) 前項の調査結果に基づき、ねずみ等の発生を防止するため必要な措置を講ずること。

（使用薬剤及び施工方法）

- 4 有機リン系又はピレスロイド系殺虫剤を物陰、部屋の周囲等に残留噴霧する。

なお、病棟においては、無臭性のものとする。

（実施上の注意事項）

- 5 実施にあたっては、次の事項に注意すること。
 - (1) 使用する薬剤については、事前に甲と十分協議すること。（契約書第44条第2項関連）
 - (2) 原則として、外来診療の行われていない時間に実施すること。
 - (3) 病棟等特に病院の指定した場所については、その場所の責任者立会いのもとに実施すること。

と。

- (4) 厨房、パントリー等においては、食料品・食品が薬剤に汚染することがないように注意すること。
- (5) カーペット、じゅうたん部については、噴霧後しみ等がつかないように注意すること。
- (6) 医療機器類に対しては、絶対に薬剤を噴霧しないように注意すること。
- (7) 施錠箇所については、病院側警備員立会いのもとに実施すること。

(報告書)

6 報告書様式は契約書第 41 条第 1 項により様式 7 を使用するものとし、乙は以下の項目を記載しなければならない。

- (1) 施行箇所
- (2) 昆虫及びそのふん確認の有無
なお、確認があった場合は、①確認箇所、②害虫の種類について記述すること。
- (3) 食品・材料の管理の良否
- (4) 施行方法
- (5) 鼠族の生息調査結果
- (6) 使用薬剤及びその量